



郡内織の今

組織物中心だった郡内織も時代のニーズに合わせ、絹織物の美しさを引き継いだ、丈夫で自宅でも洗濯ができる化繊織物へ、手織り織機を生産効率のいい自動織機へと進化させ、質感にもこだわった新商品の開発を行っています。

郡内ちりめん織

経糸を色とりどりに組合させて織り方の工夫により絵具で描いたかのように自由な色合いで花や葉を表現し、特殊な技術でちりめん調に表面加工した、光沢の美しい織物です。



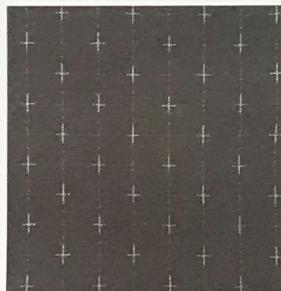
郡内ちぢみ織

丈夫なポリエステルの経糸に、涼しげなパステル調の色に染めた麻や綿の天然繊維などを織り、特殊な技術で鹿の子のように加工した夏の織物です。



郡内紋紗織

超細番手の経糸に、彩りの麻や化繊の緯糸を織り、透き通るような美しさとさらっとした触感の夏の織物です。



郡内刺し子織

ポリエステル糸を使い特別な技術で経糸緯糸に木綿の糸を組み合わせて、ちくちくと手縫いした刺し子の様に織って表現したものです。見る角度により、色彩が変わることで織物の表情が変わる玉虫色の本品は、江戸時代の「織色郡内」を参考にしています。(古都音)

正絹座布地

経糸も緯糸も絹100%の織物です。江戸時代の頃には無かった技術の進化により、光沢ある色鮮やかな絹糸で、織(おり)によって織細な美しい柄を表現しています。(正絹 天華紋)



化繊座布地

ポリエステル糸やアクリル糸などの丈夫で発色がよく絹織物のような細番手の化繊糸で織った織物です。郡内織の良さをそのままに色あせもなく、丈夫で、ご自宅でも手洗いモードで洗濯ができます。主に座布団カバーとして販売しています。(ポリエステル 葡萄唐草)



伝統の織りと柄



絹交座布地

絹糸と化学繊維糸、絹と化学繊維の混紡糸、絹の紬糸と化学繊維糸等、絹の良さと化学繊維の良さをもった織物です。上品な光沢や味わいがありながら丈夫でクリーニングもできます。(絹交 彩華)



その他、夏座布地として、綿や化繊の織物も生産しています。また化繊の大判法要座布地も取り扱っています。

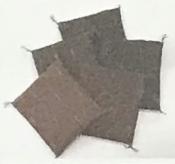
郡内織
GUNNAIORI

↖ O Z A B ↘
↗ Life Style Design 2018 ↙

てさげ



ござぶ



そのまま使うと横長のトートバッグ、紐を絞れば和装にもかわいい巾着の2WAYバッグです。裏地も郡内織でポケットもついてます。洗水加工、ご自宅で手洗いできます。(陰干し)

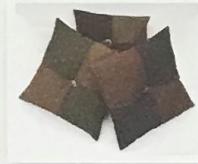


きんちゃく



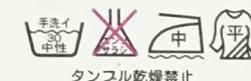
「古都音」のリバーシブル巾着は、高級感ある玉虫色の刺し子柄です。スマホが入る可愛いサイズ。洗水加工、ご自宅で手洗いできます。(陰干し)

くつしょん



郡内織の高級生地を使い座布団用の綿をたっぷり入れた座布クッションです。中心に綿止めのある座布団タイプとヌードクッション+カバータイプがあります。生地は洗水加工ですが、カバータイプのみ、カバー手洗い可能です。(陰干し)

富士山の薺水で染めた糸で織られた合格の文字は、受験生の皆さんのが努力が形になり合格を掴み取るように願いを込めています。生地は、丈夫なポリエステル糸と紬の糸を使用しています。中綿は、座布団用綿90%ポリエステル10%がたっぷり入っています。



総て弊店オリジナル郡内織の生地を使用しています。生地は、綿入れ商品と正絹・絹の混率がかなり高い絹交商品以外、ご自宅で手洗い(陰干し)できます。